

令和5年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	東広島市立黒瀬中学校	校長	鈴木 晶雄	生徒指導主事	岡 真吾
取組事例名	『年間を通した縦割り活動』				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
本校生徒指導の目標である、『自ら考え判断し、主体的に行動できる生徒の育成』を達成するために、3年目となった縦割り活動を年間通して効果的に取り組むことで、主体的に取り組む態度や共感的な人間関係を築く力を身に付けることをめざした。	生徒会を中心に縦割り活動を行っていくことや、異年齢の集団の中で相互協力することで、生徒の主体的な活動を向上させる。また、上級生がリーダーとなり後輩を思いやり、後輩が先輩を尊敬しながら活動を進めていくことで、共感的人間関係を育む。 生徒自らが本校の新しい伝統を創造し、より良い学校生活をめざす輝く生徒を育てる。



2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫
(1) 昨年度の反省を生かし、年間を通した縦割り活動を3月に生徒会が計画し、主体的に取り組む行事等を仕組んだ。 (2) 5月の縦割り遠足に向けて、生徒会を中心に実行委員を選出し、生徒主体で企画・運営し、教職員はサポート役に回った。年度当初に団長を中心に、目標やスローガンを設定できたことで、見通しを持った活動につながった。 (3) 縦割りの団ごとに集まる場面を設定し、先輩から後輩へ、後輩から先輩への感謝や思いやりを伝える機会を作り、共感的人間関係を育むとともに自己存在感を与え、自己指導能力の向上につながった。 (4) 行事終了後を大切に、行事のねらいやつきたい力を確認し、今後の生活にどうつなげていくか振り返りや集会を使って確認を繰り返した。 (5) 来年度に向け、各行事での縦割り活動だけでなく、委員会活動や学校生活の課題解決でも縦割りで行える取組を計画していく。	生徒にめあてをもたせるために ・ リーダー育成 生徒会を中心にリーダー研修等を行いめあての確認やその伝え方などを工夫した。 ・ 横断幕の作成 各行事にスローガンや目標を横断幕として作成した。 生徒の意欲を高めるために ・ 地域連携 地域の施設や大学を利用すること、また大学生に行事をサポートしてもらい、子供たちの意欲的な取り組みに繋がった。 ・ 系統的な掲示物 行事ごとに各団の目標を掲示することや取組の評価を掲示することで日々の自発的・自治的な取組に繋がった。 生徒の頑張りを認め、価値付けるために ・ 結団式、解団式、リーダー研修会 各行事で全体や団ごとに評価する場面を設け、取組の振り返りを行った。 ・ 学年、学級での活動の掲示 活動の様子や行事後のメッセージボードを異学年で送り合い、互いの感謝や尊敬の思いを伝えあった。



3 成果と課題

1月の学校評価アンケートにおいて『あなたは、前力三訓（当たり前・前向き・前進）を意識して行動していますか。』の項目に、肯定的回答が88.7%、『体育大会のダンスやコミュニケーション講座、ディベートなど、広島国際大学の先生との授業について、意欲的に取り組むことができましたか。』の項目に、肯定的回答が90.2%と昨年度との比較では、どちらも数値を上回った。また、課題であった暴力行為が昨年度6件から1件と大きく減少した。このことから、ここ2年続けてきた縦割り活動により、共感的人間関係を育むとともに自己存在感を与え、自己指導能力の向上につながったと言える。